

観察試料用生物（提供）

当館では、顕微鏡等での観察用の生物として、ミドリムシ、ボルボックス、ミカヅキモを飼育・培養しております。生物毎に飼育・培養しているため、特定の生物のみを観察することができます。



○ミカヅキモ

大きさ：0.05～0.06 mm程度

観察に適した倍率：100倍

特徴：・単細胞生物

- ・三日月形または弓型に曲がり、端にいくほど細い。
- ・細胞は三日月の中央部に核を持ち、その両側で半細胞にわかれている。葉緑体はそれぞれの半細胞に1個ずつある。



○ミドリムシ（ユージュレナ）

大きさ：0.06 mm～0.09 mm程度

観察に適した倍率：100倍～400倍

特徴：・単細胞生物。

- ・2本のべん毛を持つが、1本は非常に短く細胞前端の中に収まっている(通常は、1本のべん毛が外部に出ている)。
- ・倍率を上げて観察すると細胞の先端付近に赤い点(眼点)がある。
- ・べん毛の基部に光を感じる部分(感光点)があり、眼点は特定方向からの光をさえぎり、光認識に指向性を持たせている。
- ・楕円形の葉緑体を持ち、光合成をおこなう。
- ・動きは比較的ゆっくりしている。



○ボルボックス（オオヒゲマワリ）

大きさ：0.5～1 mm程度（群体）

観察に適した倍率：40 倍～100 倍

- 特 徴：
- ・数千個の体細胞からなる1層の体細胞層があり、中は中空である。
 - ・体細胞には葉緑体がある。
 - ・体細胞は2本のべん毛をもち、その動きで群体は回転運動をする。
 - ・群体内部の色が濃く見えるところに生殖細胞がある。それが分裂を行い次の世代の胚を作る。



○ミジンコ

大きさ：1～3 mm程度

観察に適した倍率：40 倍

- 特 徴：
- ・エビなどと同じ節足動物、淡水性の甲殻類である。
 - ・透明で体が透けて見える。
 - ・腸の動きや心臓の動きを見ることができる。
 - ・枝分かれした大きな触角を持ち、頭部に大きな複眼が1個ある。
 - ・背中側に卵を抱え孵化するまで保育する。



※ 準備に数週間かかるため、観察予定日の3週間前までに受取日の予約をしてください。

※ 受け取りに来られる際は 350ml ペットボトル容器やフィルムケースをご持参ください。